



BirdLife in Indochina

絶滅危惧種のハイナンミゾゴイがベトナムで繁殖しているのが見つかりました。

バードライフ ニュースバイト 第 14 号

2009 年 7 月 29 日

ハンナンミゾゴイ ベトナムで繁殖

絶滅危惧種のハンナンミゾゴイがベトナムで繁殖していることが初めて確認されました。バードライフ・インドチャイナ、ベトナム・バードウォッチングクラブ、ベトナム・バーディングのチームがこれを発見したのですが、2羽の成鳥と2羽の巣立ちした若鳥がバクカン省のパベ国立公園内の巣の近くでねぐらについていました。ハンナンミゾゴイは中国南部とベトナム北東部に限られて生息し、数が少なくばらばらの個体群が居るだけです。バードライフでは本種の個体数は世界中で250羽～999羽と考えており、バードライフの調査チームが2001年に同じバクカン省で1羽を観察するまでは、ベトナムでは絶滅したものと信じられていました。

バードライフ・アフリカのスタッフが表彰された

ネーチャー・ウガンダ(ウガンダのパートナー)が先ごろバードライフ・アフリカの事務局スタッフに‘自然を守って100年’と名付けた保護表彰をケニアのナイロビで贈呈しました。「私たちは慎んで大きな喜びでこの表彰を受けます。また今後ともネーチャー・ウガンダや全てのパートナーと一緒に保護活動が続けることに対する大きな励みになります。」とバードライフのアフリカ地域担当部長トンプソン博士は言いました。「このような意思表示は私たちが前進させ続けます。表彰状はバードライフのナイロビ事務所に誇らしげに飾られています。」表彰は東アフリカ自然史協会の100周年を祝うために行われたガラ・ディナーで贈呈されました。

モザンビークが国家生物多様性保護計画を開始

南部アフリカで最大の中標高域の湿森林であると考えられることが分かったことを受けて、モザンビーク政府は同国内のマブ山に山地の生態系、沿岸森林、その他の環境を守るための国家プロジェクトの確立を行う予定です。南東アフリカの山地性生物多様性プロジェクトの資金支援を行う英国政府のダーウィン・イニシアティブの科学コーディネーターのジョナサン・ティンバーレイクは「モザンビークの科学・技術大臣が、これらの山岳や沿岸森林のた

めの保護戦略を立て、主導し、その結果一層の認識と保全が得られるように、このプロジェクトのモザンビーク側のパートナーIIAMを招いてくれました。」と説明しました。

このダーウィン・プロジェクトのIIAM以外のパートナーはバードライフと近隣のマラウイ共和国のムラニー山保護トラストです。IIAM主催によるプロジェクトのワークショップがモザンビークの首都マプトで開催され、同国政府の大臣会議のメンバーが出席し、生物多様性を保護するための地域の承認への法的な基盤を作るために、保護政策を国家レベルで再検討しなければならないとの結論を出しました。しかしながら幾つかの新聞報道がありながら、マブ山の保護については公式にはまだ何も決まっています。「これらの決定を保証する法制度はまだ検討段階です。私は、このワークショップがその討議に重要な貢献をしてくれることを望んでいます。」とティンバーレイクは言いました。

太平洋での根絶計画が更なる盛り上がり

バードライフの太平洋パートナーシップは同地域の海鳥に対して外来種が一層の重大な脅威であることを示すために外来種根絶計画に加わっています。彼らはこれまでに重要な海鳥繁殖地であるフィジーのバツイラ島から外来種のネズミの根絶に成功し、更に、太平洋4カ国の16の島からのげっ歯類の駆除を行っています。パッカード基金(米国)からの支援が更新され、パートナーシップは更に海鳥の重要繁殖地であるフィジー、フランス領ポリネシア、ニューカレドニア、クック諸島、パラオなどの19の島にこの再生計画を拡大しています。

今後の2年間、パートナーシップはこれらの島からネズミと野良猫を根絶することを計画し、そのため、これらの捕食者の駆除の海鳥および生物への反応を監視し、再構築のなった海鳥の島の長期的な安全のために地方および国家政府と共同で作業を行います。「最も重要なのは、このプロジェクトが30種の海鳥と5種の世界的に絶滅危惧のある陸鳥の繁殖地を再構築することにつながることです。」とバードライフの太平洋海鳥計画主任のスティーブ・クランウェルは言いました。この計画はバードライフのパートナーであるフランス領ポリネシアのポリネシア鳥類学会、ニューカレドニアのカレドニア鳥類学会、クック島のタポロポロアング・イプカリア協会、パラオのパラオ保護協会により実施されます。